

シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系 列	整備機器		
科 目 名	整備作業機器・測定機器		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期	火曜日	5・6時限
時 限 数	14時限（期末試験を除く）		
担当教員名	吉田 哲也		
実務経験	有・無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる整備機器及び測定機器についての講義を実施する。		
授業の目的	整備作業を確実行う為には、様々な整備機器・測定機器が必要であり、それらの整備機器・測定機器の正確な取り扱いや点検方法を講義する。		
テキスト	①作成資料 ②一級自動車整備士 シヤシ電子制御装置（日本自動車整備振興会連合会 発行） ③三級自動車シヤシ（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	リフトの取扱いと保守 マルチユースリフト トータスリフト	マルチユースリフト トータスリフトの取扱い	①
第2回	エアー工具の取扱いと保守	エアコンプレッサ インパクトレンチ サンダー（ベルトサンダー） エアソーの取扱い	①
第3回	カークーラーサービス1	ガス回収器、マニホールドゲージ、ガスリークテスタ等の構造、取扱い	①
第4回	カークーラーサービス2	ガスの回収方法、冷媒の充てん方法、冷房性能試験	①
第5回	4輪トータルアライメント1	ホイールアライメント概要 構造・機能・整備	① ③P123～P133
第6回	4輪トータルアライメント2	4輪トータルアライメント測定の手順 アライメント測定 アライメント調整	①
第7回	振動騒音分析器の構成、取扱い	振動騒音分析器の用途 測定方法 騒音計を活用した室内騒音測定方法	① ②P294～P300
	期末試験	第1回～第7回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	整備作業を確実行う為に必要な整備機器・測定機器の取扱いや点検方法を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。		

定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80%</p> <p>平常点 20%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。</p> <p>70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点 = 良とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。